

FavorPrep™ Genomic DNA Clean-Up Kit

Cat: FAGDC 000 (4 回分) / FAGDC 001 (50 回分) / FAGDC 001-1 (200 回分)

本製品は研究用です

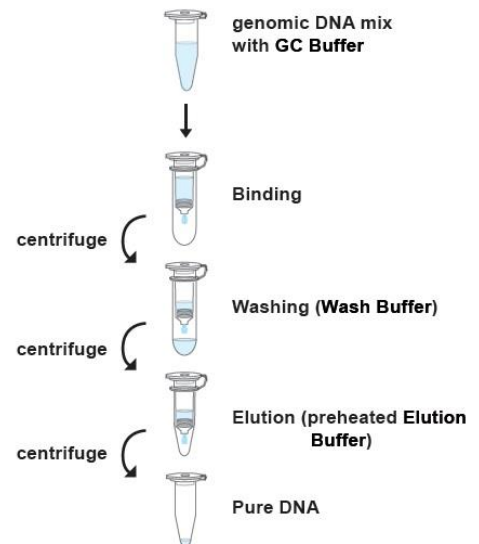
v 221020

🌈 キットの内容

	FAGDC 000 (4 preps_sample)	FAGDC 001 (50 preps)	FAGDC 001-1 (200 preps)
GC Buffer	1.5 ml × 2	30 ml	120 ml
Wash Buffer* (concentrated)	1 ml	10 ml	40 ml
Elution Buffer	1.5 ml	15 ml	50 ml
GC Column	4 pcs	50 pcs	200 pcs
Collection Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs
添加する 96-100%エタノール量			
Wash Buffer	4 ml	40 ml	160 ml

🌈 基本情報

構成	シリカメンブレン法 (ミニスピカラム)
結合量	60 µg
サンプル量	ゲノム DNA 溶液: ≤100 µl (最大 50 µg のゲノム DNA を含む)
DNA サイズ	20 kbp~30 kbp
回収率	80%~95%
溶出量	50-200 µl
操作時間	15 分



🌈 重要事項

1. 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
2. Wash Buffer は使用前にエタノール (96-100%) を加えてください。
3. ステップ 9 で Elution Buffer を 65°C に加熱する。
4. 遠心分離は、14,000 rpm または 10,000 × g で行ってください。

🌈 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 100 µl のゲノム DNA (50 µg までのゲノム DNA を含む) をマイクロチューブ (非付属) に移し、500 µl の GC Buffer を加え、ボルテックスでよく混和する。

※サンプル量が 100 µl に満たない場合は ddH₂O を加えて 100 µl にする。

2. GC Column を Collection Tube にセットし、サンプル混合液を GC Column に移し替える。
3. 1 分間遠心分離する。
4. ろ液を捨て、GC Column を再び Collection Tube にセットする。
5. Wash Buffer（エタノール添加）750 μ l を GC Column に添加し、1 分間遠心分離する。
※最初の開封時に Wash Buffer にエタノール（96～100%）が添加されていることを確認する。
6. ろ液を捨て、GC Column を Collection Tube に戻す。
7. さらに 3 分間遠心分離し、GC Column を乾燥させる。
重要なステップ！：このステップにより、残留液がその後の酵素反応を阻害するのを防ぐことができる。
8. GC Column を Elution Tube(付属品)にセットする。
9. 50～200 μ l の予熱した Elution Buffer または ddH₂O (pH 7.0～8.5) を GC Column の膜中央部に添加し、2 分間静置する。
重要なステップ！：効率良く溶出させるために、溶出液をカラム膜中央に添加し、完全に吸収させる。
10. 1 分間遠心分離し、DNA を溶出させる。

🚩 トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解法
ゲノム DNA の回収率が悪い、もしくは回収できない	100 μ l 以上のゲノム DNA 溶液を添加している	サンプル量が 100 μ l 以上の場合は、数本に分けて精製してください
	効率的に溶出されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・Elution Buffer や ddH₂O が pH 7.0-8.5 であるか確認してください ・Elution Buffer をカラム膜に完全に吸着させてください ・Elution Buffer を 65°C に温めてから使用してください
アプリケーションの結果が悪い	塩が残留している	Wash Buffer で 2 度洗浄してください
	エタノールが残留している	Wash Buffer で洗浄後ろ液を捨て、3 分間遠心分離してください